

国土交通省独立行政法人評価委員会教育機関分科会（第22回）議事要旨

1. 日時

平成25年8月1日（木）13:30~17:50

2. 場所

国土交通省 2号館 低層棟1階 共用会議室3AB

3. 出席者（敬称略・臨時委員は50音順）

分科会長	宮下 國生	関西外国語大学外国語学部教授
分科会長代理	酒井 正子	帝京大学経済学部観光経営学科教授
臨時委員	大島 慎子	筑波学院大学学長
//	桑島 進	東京海洋大学名誉教授
//	小島 茂	一般社団法人日本船長協会会長
//	関 利恵子	信州大学経済学部准教授
//	高田 正彦	元エアーニッポン株式会社常勤監査役
//	羽原 敬二	関西大学政策創造学部教授
//	水島 健二	日本郵船株式会社代表取締役・専務経営委員
//	李家 賢一	東京大学大学院工学系研究科教授

4. 議題

(1) 独立行政法人航空大学校

- ① 平成24事業年度財務諸表の承認にあたっての意見具申について
- ② 平成24事業年度業務実績評価について
- ③ 退職役員の業績勘案率の決定について

(2) 独立行政法人海技教育機構

- ① 平成24事業年度財務諸表の承認にあたっての意見具申について
- ② 平成24事業年度業務実績評価について
- ③ 退職役員の業績勘案率の決定について

(3) 独立行政法人航海訓練所

- ① 平成24事業年度財務諸表の承認にあたっての意見具申について
- ② 平成24事業年度業務実績評価について

5. 議事概要

○議事の概要は以下のとおり。

(1) 独立行政法人航空大学校

- ① 平成24事業年度財務諸表の承認にあたっての意見具申について
特に意見なし。
- ② 平成24事業年度業務実績評価について
 - ・東日本大震災による仙台分校の被害に伴う訓練の遅れについて、訓練の正常化に向けて相当な努力が行われており、震災復旧の優れた取り組みとして評価できる。
 - ・新シラバスの導入による学生の成績向上やFTDの活用による訓練業務の効率化は高く評価できる。
 - ・CRM教育の導入や新追加教育時間制度により教育の質的向上が図られており評価できる。という評価のもと、総合評価は「中期目標の達成に向けて着実な実施状況が認められる」となった。
- ③ 退職役員の業績勘案率の決定について
特に意見はなく、原案どおり「0.9」として決定された。

(2) 独立行政法人海技教育機構

- ① 平成24事業年度財務諸表の承認にあたっての意見具申について
特に意見なし。
- ② 平成24事業年度業務実績評価について
 - ・海事関連企業への就職率が、すべての学科・コースについて96%を超えており、目標値を大きく上回る成果を上げたことは高く評価できる。
 - ・学生募集に関する様々な広報活動によって、昨年度に比して応募者20%増を達成したことは優れた成果として評価できる。
 - ・組織運営の効率化では、館山校の給食業務の外部委託化など経費の削減効果がみられる。という評価のもと、総合評価は「中期目標の達成に向けて着実な実施状況にあると認められる」となった。
- ③ 退職役員の業績勘案率の決定について
審議の結果「0.9」と決定した。

(3) 独立行政法人航海訓練所

- ① 平成24事業年度財務諸表の承認にあたっての意見具申について
特に意見なし。
- ② 平成24事業年度業務実績評価について
 - ・海運業界及び船員教育機関等との意見交換会や航海訓練の現場視察の機会を通じて得られた知見を教育研究プログラムに順次着実に導入していることは、優れた成果として評価できる。
 - ・国際条約に基づく適切な対応も実施され、ガバナンスの充実に努めている。
 - ・予算と人員が、毎年削減されるという厳しい状況の中で、航海訓練、研究の面で着実に成果を上げていることは評価できる。という評価のもと、総合評価は「中期目標の達成に向けて着実な実施状況にあると認められる」となった。